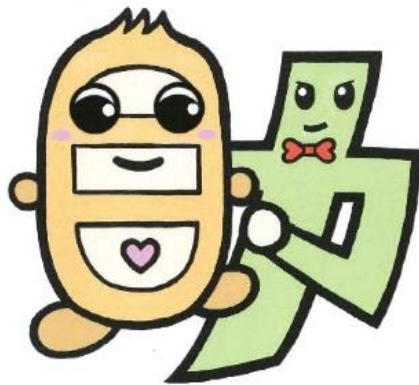


令和6年度

事業報告書

自 令和6年4月 1日

至 令和7年3月31日



茨木市社協 70 周年マスコットキャラクター
「アイちゃんとタスケくん」

社会福祉法人 茨木市社会福祉協議会

目 次

令和6年度 事業報告	1
1 組織規模・構成について	2
（1）役員	2
（2）評議員	2
（3）地区福祉委員会	2
（4）組織構成会員	2
（5）事務局	2
（6）賛助会員数等	2
2 会議関係について	4
（1）理事会	4
（2）評議員会	5
（3）その他の会議等の開催状況	5
3 ソーシャルワーク実習の受入れについて	6
4 広報活動について	7
（1）広報誌編集委員会	7
（2）「社協だより」（福祉茨木）の発行	7
5 善意銀行運営事業について	9
（1）金銭預託及び払出し状況	9
（2）物品預託及び払出し状況	9
6 各種機器貸出事業について	10
（1）車椅子貸出台数	10
（2）ベビーカー貸出台数	10
（3）その他の機器	10
7 地区担当制による地区福祉委員会活動の支援について	12
（1）地区福祉委員長会議の開催	12
（2）小地域ネットワーク活動の推進	13
（3）高齢者を敬う事業	14
（4）歳末たすけあい事業	14
（5）ぷらっとホーム事業	15
（6）地区福祉委員会行動計画の策定について	17
（7）地区福祉委員長連絡協議会	18
（8）IBARAKI コミュニティ・カーシェアリング事業について	19

8	茨木市コミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置事業について	21
	（1）茨木・中条地区	21
	（2）大池・中津地区	22
9	当事者組織の育成と支援について	23
	（1）老人介護家族の会	23
	（2）発達障がいの子どもの将来を描く親の会「あかね空」	24
	（3）医療的ケアを必要とする児童に対する 就学支援の拡充をめざす会	25
10	児童養護施設支援活動事業について	26
	（1）児童養護施設支援	26
	（2）「子ども“わいわい”ネットワーク茨木」との連携	26
11	生活福祉資金貸付事業について	27
	（1）各種資金貸付状況	27
	（2）新型コロナウイルス特例貸付フォローアップ支援事業	27
12	日常生活自立支援事業について	29
	（1）相談、問い合わせ件数	29
	（2）契約締結件数、解約件数	29
	（3）契約前の訪問相談件数	29
	（4）生活支援員活動件数	29
	（5）会議、研修会等への出席	29
13	権利擁護相談センターいばらき運営事業について	30
	（1）運営委員会	30
	（2）広報・啓発活動	30
	（3）研修会	30
	（4）相談機関の後方支援	31
	（5）相談対応実績	31
	（6）その他	31
14	ボランティアセンター運営事業について	32
	（1）ボランティアの養成、育成	32
	（2）啓発活動	34
	（3）他団体・機関での講座・研修会等への講師派遣協力	34
	（4）ボランティア活動状況	34
	（5）ボランティア総合補償制度の加入取扱状況	35
	（6）ボランティアセンター運営検討委員会	36
	（7）ボランティアセンター運営状況	36
15	災害ボランティアセンターに関する事業について	38
16	福祉車両移送サービス事業について	40

1 7	福祉教育事業について	41
1 8	共同募金事業について	43
	(1) 常任理事会	43
	(2) 理事会	43
	(3) 自治会長説明会	43
	(4) 募金活動期間・街頭募金運動	43
	(5) 赤い羽根共同募金実績額種別内訳	43
	(6) 歳末たすけあい運動募金実績額種別内訳	43
	(7) くじ募金	43
1 9	茨木市高齢者・障害福祉サービス各事業所連絡会との 連携について	45
	(1) 茨木市高齢者サービス事業所連絡会との協働	45
	(2) 障害者福祉サービス事業所連絡会への参加	47

1 組織規模・構成について（令和7年3月末現在）

（1）役 員

①理 事 10人

②監 事 2人

（2）評議員 16人

（3）地区福祉委員会 33地区

（4）組織構成会員 94団体

（5）事務局

①事務局長 1人 ④課長代理 1人 ⑦準職員 4人

②参 与 1人 ⑤係 長 3人 ⑧任期付職員 7人

③課 長 2人 ⑥職 員 8人

（6）賛助会員数等

（表1：前年比較）

区 分		令和6年度 (R7.3.末)①	令和5年度 (R6.3.末)②	対前年度伸率 ①／②
人 口		285,842人	285,729人	100.04%
世 帯 数		135,102世帯	133,929世帯	100.88%
賛 助 会員数	個 人	21,111件	21,561件	97.91%
	特別・法人	500件	716件	69.83%
賛 助 会費額	個 人	12,966,000円	13,363,500円	97.03%
	特別・法人	3,205,000円	3,586,000円	89.38%
	計	16,171,000円	16,949,500円	95.41%
加入率（個人賛助会員数／世帯）		15.63%	16.09%	

(表2：賛助会員地区別状況)

(円)

No.	地区名	個人会員		特別会員		法人会員		合 計	
		会員数	金 額	会員数	金 額	会員数	金 額	会員数	金 額
1	中 条	708	474,500	4	32,000	10	60,000	722	566,500
2	春 日	658	408,500	11	22,000	26	185,000	695	615,500
3	玉 櫛	894	512,500	2	7,000	10	65,000	906	584,500
4	豊 川	185	157,500	14	326,000	0	0	199	483,500
5	見 山	266	134,000	24	26,000	7	35,000	297	195,000
6	玉 島	404	266,500	3	51,000	9	75,000	416	392,500
7	三 島	997	550,500	15	35,000	11	55,000	1,023	640,500
8	東	613	349,000	1	1,000	1	5,000	615	355,000
9	春日丘	636	436,500	0	0	17	95,000	653	531,500
10	茨 木	797	443,500	6	156,000	14	80,000	817	679,500
11	石 河	220	184,000	1	3,000	1	5,000	222	192,000
12	太 田	854	528,500	10	10,000	20	120,000	884	658,500
13	清 溪	233	293,500	1	3,000	30	225,000	264	521,500
14	安 威	670	524,000	0	0	5	30,000	675	554,000
15	福 井	649	422,500	5	105,000	17	110,000	671	637,500
16	中 津	440	344,000	7	29,000	12	105,000	459	478,000
17	大 池	923	491,000	1	40,000	1	5,000	925	536,000
18	郡	708	373,500	3	3,000	1	10,000	712	386,500
19	天 王	826	525,000	1	20,000	22	135,000	849	680,000
20	沢池	828	518,500	3	3,000	2	10,000	833	531,500
21	新郡山	720	403,000	1	2,000	2	30,000	723	435,000
22	水 尾	731	455,500	1	5,000	9	45,000	741	505,500
23	葦 原	539	293,000	5	15,000	9	45,000	553	353,000
24	庄 栄	355	220,000	20	82,000	8	45,000	383	347,000
25	畑 田	228	139,500	2	40,000	0	0	230	179,500
26	耳 原	776	438,500	15	30,000	6	40,000	797	508,500
27	山手台	938	469,000	0	0	0	0	938	469,000
28	白 川	680	412,000	7	29,000	25	135,000	712	576,000
29	東奈良	683	423,000	4	53,000	9	50,000	696	526,000
30	穂 積	683	427,500	1	120,000	1	10,000	685	557,500
31	西河原	921	489,000	12	12,000	6	30,000	939	531,000
32	西	1,125	671,000	0	0	4	20,000	1,129	691,000
33	彩都西	220	175,000	15	29,000	1	5,000	236	209,000
	事務局	3	12,500	1	1,000	8	50,000	12	63,500
合 計		21,111	12,966,000	196	1,290,000	304	1,915,000	21,611	16,171,000

2 会議関係について

(1) 理事会 5回

月日	場 所	主 な 案 件	出席者数
6. 4	社協会議室	1) 社会福祉法人茨木市社会福祉協議会副会長の選定について 2) 社会福祉法人茨木市社会福祉協議会理事候補者の選定について 3) 社会福祉法人茨木市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について 4) 社会福祉法人茨木市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 5) 令和5年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会事業報告について 6) 令和5年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会収支決算認定について 7) 「社会福祉法人茨木市社会福祉協議会における指導監査の改善報告について」 8) 会長及び常務理事職務執行状況報告 9) 事務報告	8 人
9. 6	社協会議室	1) 令和6年度茨木市社会福祉協議会善意銀行の払い出しについて 2) 地区福祉委員会周年式典における福祉委員への表彰及び感謝について (清溪地区福祉委員会) 3) 茨木市社会福祉協議会災害ボランティアセンター設置要綱の制定について 4) 社会福祉法人茨木市社会福祉協議会定款の変更について 5) 会長及び常務理事職務執行状況報告 6) 事務報告 7) 「共同募金運動について」 「災害時難病患者（児）移送支援シミュレーション訓練について」 「権利擁護相談センターいばらきの開設について」	10 人
10. 28	書面による 決議	1) 茨木市社会福祉協議会災害ボランティアセンター運営要綱の制定について	10 人
12. 23	社協会議室	1) 令和6年度上半期事業報告について 2) 令和6年度決算見込みについて 3) 会長及び常務理事職務執行状況報告 4) 事務報告 5) 「共同募金運動について」 「災害ボランティアセンター運営について」	9 人
2. 25	社協会議室	1) 令和7年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会事業計画（案）について 2) 令和7年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会資金収支予算（案）について 3) 令和7年度資金運用計画（案）について 4) 令和6年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について 5) 社会福祉法人茨木市社会福祉協議会規則等の変更について 6) 社会福祉法人茨木市社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の招集について 7) 社会福祉法人茨木市社会福祉協議会評議員候補者の推薦について 8) 役員等賠償責任保険契約の締結（更新）について 9) 会長及び常務理事職務執行状況報告 10) 事務報告 11) 「社会福祉法人茨木市社会福祉協議会における指導監査の改善報告について」 「中期財政改善計画について」 「地区福祉委員会における賛助会員の募集について」 「災害ボランティアセンター設置合同訓練について」 「職員の採用状況について」	7 人

(2) 評議員会 3回

月日	場 所	主 な 議 案	出席者数
6. 21	社協会議室	1) 令和 5 年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会事業報告について 2) 令和 5 年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会収支決算について 3) 社会福祉法人茨木市社会福祉協議会理事の選任について 4) 「社会福祉法人茨木市社会福祉協議会における指導監査の改善報告について」	13 人
9. 26	書面による 決議	1) 社会福祉法人茨木市社会福祉協議会定款の変更について	16 人
3. 25	社協会議室	1) 令和 7 年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会事業計画（案）について 2) 令和 7 年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会資金収支予算（案）について 3) 令和 6 年度社会福祉法人茨木市社会福祉協議会資金収支補正予算(案)について 4) 「茨木市社会福祉協議会中期財政改善計画に基づく取り組み状況について」 「社会福祉法人茨木市社会福祉協議会における指導監査の改善報告について」 「地区福祉委員会における賛助会員の募集について」	14 人

(3) その他の会議等の開催状況

会議の名称	開 催 日
監 査	5. 20 1 回
評議員選任・解任委員会	6. 7 3. 11 2 回
執行役員会	8. 23 12. 13 2. 20 3 回

3 ソーシャルワーク実習の受入れについて

ソーシャルワークの実践的知識と技術を身につけるため、対象者や福祉施設、行政機関などとの関わりや支援過程を通じて、理論と実践の学びを深められるよう活動の場の提供や技術の指導等を行います。

日 時	大学等	内 容
8.19～ 9.20 の内 25 日間	大阪人間科学大学 1 人：184 時間 神戸学院大学 1 人：180 時間 同志社大学 1 人：184 時間	○社協各種事業活動の講義 ○地区福祉委員会事業や日常生活自立支援事業等での同行訪問等 ○報告会 「IBARAKI コミュニティ・カーシェアリング事業及び ぷらっとホームについて」：大阪人間科学大学 「音楽×社協 社協のテーマソングを作ろう大作戦」 ：神戸学院大学 「私が考える社協、CSW の可能性について」 ：同志社大学
11. 1 ～ 12.5 の内 25 日間	日本メディカル 福祉専門 1 人：194 時間 龍谷大学 1 人：186 時間	○社協各種事業活動の講義 ○地区福祉委員会事業や日常生活自立支援事業等での同行訪問等 ○街頭募金の同行 ○報告会 「ボランティアからはじまる安心できる暮らしの実現」 ：日本メディカル福祉専門学校 「赤い羽根共同募金の可能性」：龍谷大学

【事業評価】

実習期間中に「中間報告」「最終振り返り」の時間を設けたことにより、実習生にそれまでの学びを振り返ってもらうとともに、本協議会にとっても職員自身の業務を見直したり担当する業務を分かりやすく伝える方法を考える機会になりました。

また実習報告会では、学生ならではの視点で見た社会福祉協議会や地域の在り方、それに伴うPR方法等を発表してもらったことで、本協議会として今後の地域福祉推進の参考となるアイデアを得ることも出来ました。

4 広報活動について

本協議会の事業や活動及び福祉全般に関する情報を、広報誌「社協だより」やホームページ、SNS等を活用して広く地域住民に提供します。

(1) 広報誌編集委員会 3回

月 日	場 所	主 な 内 容
6. 26	社会福祉協議会会議室	広報誌「社協だより」(福祉茨木) 第215号の編集会議
10. 25	社会福祉協議会会議室	広報誌「社協だより」(福祉茨木) 第216号の編集会議
2. 26	社会福祉協議会会議室	広報誌「社協だより」(福祉茨木) 第217号の編集会議

(2) 「社協だより」(福祉茨木) の発行 年3回 全戸配布

号	月日	主 な 内 容	発行部数
第214号	4. 1	<ul style="list-style-type: none"> ○令和6年度事業計画 ○ちいき・いきいき・いばらき(春日丘、西、白川) ○IBARAKIコミュニティ・カーシェアリング ○社協力「茨木市高齢者いきがいワーカーズ支援事業」 ○大阪府茨木保健所より「災害時における難病患者等の避難受入等に関する協定」締結事業所募集 ○居宅介護支援事業所の閉鎖について ○能登半島地震災害支援について ○善意銀行報告 ○共同募金へのお礼 ○ボラセン通信(ボランティアセンターとは、ボランティア講座) ○第29回みんな集まれ!! ボランティアinいばらき開催! 	139,300部 8ページ
第215号	8. 1	<ul style="list-style-type: none"> ○第29回みんな集まれ!! ボランティアinいばらき ○賛助会員への協力のお礼 ○権利擁護相談センターいばらき開設について ○活動計画が策定されました ○令和5年度社会福祉協議会事業・決算報告、令和6年度予算報告 ○“ぷらっとホーム”大集合!! ○ちいき・いきいき・いばらき(沢池地区) ○IBARAKIコミュニティ・カーシェアリング ○令和6年度「高齢者を敬う事業」について ○ボラセン通信(ボラ♡かふえ開店、ボランティア体験プログラム・各種教室・講座参加者募集のご案内) ○共同募金運動への協力をお願い ○福祉系資格取得講座社会人(16歳以上)コース募集 ○市民向け講座「あなたの権利を守る成年後見制度と日常生活自立支援」 ○善意銀行報告 ○令和6年度(78回)共同募金・歳末たすけあい募金、くじ募金 ○令和6年能登半島地震災害義援金について 	140,100部 8ページ

5 善意銀行運営事業について

金銭や物品の預託を受けて、生活に困窮する世帯や施設、事業所等へ、或いはボランティア活動の事業等への助成金として払い出しを行っています。

(1) 金銭預託及び払出し状況

預 託 (円)			払 出 し (円)	
一 般 預 託	54件	2,349,000	ボランティア登録団体 助成金	179,200
合 計		2,349,000	合 計	179,200

(2) 物品預託及び払出し状況

預 託		払 出 し
食 料 品	アイスクーキ、さつまいも、みかん、りんご、非常食、米、カップ麺、カップ焼きそば、パックご飯、缶詰、佃煮、乾麺、お茶、レトルト食品、インスタント食品、調味料、ジュース、お菓子等	(児童関係) レバノンホーム、希望館、子どもの家、茨木療護園 (高齢、障がい児・者関係、他相談事業所等) 天兆園、やまゆり苑、園田ケアプランセンター いきいきネット相談支援センター春日丘荘、 いきいきネット相談支援センタービーベル、 いきいきネット相談支援センターエルダー、 いきいきネット相談支援センターM-CAN 相談支援センターあい・あい、あすてつぶ茨木 相談支援センター藍野療育園
貸 出 用 物 品	車椅子 4台	(地域関係) よってこ食堂 (その他) 市役所や保健福祉センター、各施設・事業所から生活困窮者へ
そ の 他	洗濯機、冷蔵庫、電子レンジ、蛍光灯、シーリングライト、ホットプレート、キーボード、杖、車椅子、文房具、紙おむつ、紙パンツ、尿取りパット、おしりふき、衣類、肌着、タオル、バスタオル、寝具類、生理用品、洗剤、アメニティグッズ、雑貨、切手(未使用)	

【事業評価】

いただいた寄付物品に関しては、継続して児童養護施設や障がい者施設等へ払い出しを行っています。令和6年度は市役所や福祉関係機関からの紹介で、大手企業等からの物品預託の寄付があり、多くの施設や生活困窮者への緊急援助に払い出しを行いました。今後については特定の施設だけでなく、幅広く必要とされる所への払い出しができる仕組みを検討していきます。

6 各種機器貸出事業について

介護保険等の公的制度での貸与ができない方（要介護1の認定以下の方等）や、緊急で必要となった方を対象に車椅子の貸出、また2歳未満の乳幼児を対象にベビーカーの貸出を行っています。

その他、研修用の車椅子やアイマスク、高齢者疑似体験セットについては、小学校を初め地区福祉委員会やその他各種団体の福祉教育や体験学習等に、啓発を目的として貸出を行っています。

(1) 車椅子貸出台数（保有台数 41台） ※他研修用車椅子12台

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
6年度	18	24	20	19	23	25	21	24	23	14	13	18	242
5年度	26	21	20	14	16	17	33	30	23	19	24	21	264

(2) ベビーカー貸出台数（保有台数 19台）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
6年度	0	2	1	1	5	0	1	1	0	1	3	3	18
5年度	5	2	2	4	2	2	2	6	5	2	1	3	36

(3) その他の機器（福祉教育事業での利用実績を含む）

月 日	種 別	貸 出 先	備 考
5. 8	車椅子 6 台	大阪府民カレッジ 茨木校	講座
5.10～5.13	アイマスク 4 枚	ボランティアセンター 登録グループ クローバー	研修
5.23	車椅子 5 台	医療法人清風会就労支援 センター オンワーク	ボランティア体験
5.24～5.27	車椅子 1 台	合同会社 みきケアサポート	社内研修
5.26	車椅子 10 台	シニアカレッジ	講義
6.5～6.7	車椅子 10 台、アイマスク 40 枚	関西大倉中学校	授業、体験学習
6.14～6.20	車椅子 3 台	忍頂寺小学校	授業、体験学習
10.28～10.29	車椅子 5 台	沢池小学校	授業、体験学習
10.30～11.1	車椅子 12 台	彩都西小学校	授業、体験学習
11.1～11.7	高齢者疑似体験セット S 3 個、M 2 個 もみじセット M 2 個、L 3 個	カリエール茨木	高齢者体験
11.6～11.8	車椅子 12 台	穂積小学校	授業、体験学習
11.11～11.13	アイマスク 40 枚 高齢者疑似体験セット S 8 個、M 4 個	彩都西小学校	授業、体験学習
11.13～11.14	車椅子 12 台	大池小学校	授業、体験学習

11.26～11.27	車椅子12台、アイマスク40枚	春日丘小学校	授業、体験学習
12.2～12.3	車椅子12台	東小学校	授業、体験学習
12.3～12.4	アイマスク40枚	大池小学校	授業、体験学習
12.13	もみじセットL5	追手門学院大学 (小豆島プロジェクト)	体験学習
12.16～12.17	車椅子8台	葦原小学校	授業、体験学習
12.18～12.20	車椅子8台	三島小学校	授業、体験学習
1.10～1.13	車椅子1台	消防総務課	消防出初式 介助訓練
1.14～1.15	車椅子12台	東雲中学校	授業、体験学習
1.17～1.20	車椅子6台	郡山小学校	授業、体験学習
1.21～1.22	アイマスク42枚	郡山小学校	授業、体験学習
1.22～1.23	車椅子12台	中津小学校	授業、体験学習
1.24～1.27	車椅子6台	東奈良小学校	授業、体験学習
1.29～1.30	車椅子10台、アイマスク40枚	福井小学校	授業、体験学習
2.3～2.5	車椅子3台、アイマスク35枚	水尾小学校	授業、体験学習
2.6～2.7	車椅子10台、アイマスク35枚	太田小学校	授業、体験学習
2.13～2.14	車椅子7台	障害福祉課	研修
2.17～2.18	車椅子10台	茨木小学校	授業、体験学習
2.19～2.21	車椅子8台、アイマスク40枚	春日小学校	授業、体験学習
2.25～2.27	車椅子12台、アイマスク40枚 高齢者疑似体験セットS8個、M4個	中条小学校	授業、体験学習
3.5～3.7	車椅子7台	山手台小学校	授業、体験学習

【事業評価】

車椅子、ベビーカー共に貸出事業については、貸出件数の総数は減少したものの、貸出申し込みが集中するなどして貸出しを断らなければならないこともありました。介護保険等の制度が利用できるまでのつなぎやケガなど緊急で一時的に必要とされた方々、或いは経済的な理由等から必要とされる世帯もまだまだあるため、貸出しは今後も事業を継続する必要があります。

その他、研修用の車椅子やアイマスク、高齢者疑似体験セットの貸出については、小学校等の福祉教育の一環として貸出備品を利用した体験学習で活用されており、福祉の啓発という目的からも事業を継続します。

7 地区担当制による地区福祉委員会活動の支援について

○地区担当職員の役割と配置

誰もが地域において日常生活（社会生活）を営む権利があります（人権と権利擁護）。個々に応じた地域生活の支援（地域生活支援）を実践するためには、個別支援を担う専門職と地域支援を担う専門職の連携は不可欠です。

地区担当職員は、茨木市域を中央・北・東・西・南の5圏域に分けて配置し、CSWや障害相談支援センター、地域包括支援センターなど福祉の専門職と連携を取りやすいようにすることで、個別支援と地域支援の統合がはかれるようにし、地域生活支援のため住民ならびに専門職との対話を大切にしながら、住民と一緒に地域を支える“地域の力”を育むことに注力しました。

【事業評価】

住民ならびに専門職との対話を大切にすることで、共に学び合い、地区担当職員としても実践を振り返り考えることで、地域住民と共に育つことができました。

次年度も対話と学び合いを丁寧に積み重ねることで、地域を支える“地域の力”を引き出せるようにします。

○地区福祉委員会活動支援

地区福祉委員会では、身近な生活の範囲で住民同士が主体的に地域の“暮らし”“ふくし”について話し合い、ともに支え合う活動を進めています。

民生委員児童委員協議会や自治会、老人会など地域の各種団体からの選出、地区福祉委員会の活動の趣旨に賛同するボランティアで構成されていて、住民同士の交流の場づくりや高齢者の見守り訪問、乳幼児や保護者のための子育てサロンなどの事業を展開しています。

茨木市では、地区福祉委員会を「地域福祉を進める中核」として位置付け、概ね小学校区ごとに地域の課題に合わせた福祉活動を展開しています。

地区福祉委員会設置数	33か所	福祉委員数	1,470人
------------	------	-------	--------

（1）地区福祉委員長会議の開催

日程	主 な 内 容	出席者数
5.24	・令和6年度茨木市社会福祉協議会事業計画について ・社協地区担当について ・食中毒予防について ・能登半島地震災害義援金へのご協力の御礼について	40人
7.26	・組織構成会員について ・権利擁護相談センターいばらきについて ・地区福祉委員会行動計画について ・地区福祉委員会の広報活動について ・補助金について ・高齢者を敬う事業について	50人

1. 24	<ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロンへの保健師の派遣について ・賛助会員募集について ・貸出おもちゃについて ・子育てサロンでの動画撮影について ・補助金について ・法人会員募集について 	40 人
-------	---	------

(2) 小地域ネットワーク活動の推進

①夢づくり・手づくりの活動応援事業（冬休み子ども勉強会、芋掘り体験会など）							
実施 地区数	8 地区	実施回数	432回	延べ 参加者数	3,111人	ボラン ティア数	1,105人
【特徴的な活動】 <ul style="list-style-type: none"> ・IBARAKIコミュニティ・カーシェアリング事業を活用したお買い物送迎 ・夏休み期間に、子どもたちが宿題もでき安心して集まれる場所を大学生等と連携し提供 							

②いきいきサロン事業（レクリエーションや制作活動、茶話会など）							
実施 地区数	28地区	実施回数	600回	延べ 参加者数	9,104人	ボラン ティア数	3,445人
【特徴的な活動】 <ul style="list-style-type: none"> ・集会所を活用し参加対象地域を絞ったサロン ・移動型出前サロン ・農園で採れた野菜を調理し提供 							

③地域健康づくり事業（健康体操教室やニュースポーツなど）							
実施 地区数	23地区	実施回数	454回	延べ 参加者数	6,844人	ボラン ティア数	1,850人
【特徴的な活動】 <ul style="list-style-type: none"> ・史跡探訪ウォーキング ・昭和平成歌謡に合わせたダンス ・盆踊り教室 ・地域包括支援センター等と連携し「地区健康フェスティバル」の開催 							

④子育て支援事業（遊びを通じての交流や子育てについての相談など）							
実施 地区数	30地区	実施回数	169回	延べ 参加者数	5,735人	ボラン ティア数	1,595人
【特徴的な活動】 <ul style="list-style-type: none"> ・乳幼児、保護者、プレママのつどい ・じいじ、ばあばとの交流 							

⑤高齢者地域見守り事業（声かけ訪問や会食、配食サービスなど）							
実施 地区数	27地区	実施回数	193回	延べ 参加者数	7,206人	ボラン ティア数	2,063人
【特徴的な活動】 <ul style="list-style-type: none"> ・お花見を兼ねたお散歩会 ・手作りお弁当に手書きのお便りを添えてお届け 							

⑥世代間交流（昔の生活の伝承や昔の遊びを通じての交流など）							
実施 地区数	27地区	実施回数	90回	延べ 参加者数	38,344人	ボラン ティア数	1,728人
【特徴的な活動】 <ul style="list-style-type: none"> ・子どもと大人の混合チームでスローイングビンゴ大会 ・小学校での車いす講習会 ・幼稚園での焼き芋大会 							

⑦研修事業（福祉委員会活動に参画してくれる担い手の募集、各種勉強会など）							
実施 地区数	20地区	実施回数	24回	延べ 参加者数	823人	ボラン ティア数	198人
【特徴的な活動】 <ul style="list-style-type: none"> ・地域での防災について考える ・新任委員に福祉委員会活動を知ってもらう 							

⑧広報発行（機関紙の発行、活動・行事のちらし配布など）							
実施 地区数	29地区	実施回数	68回	延べ 参加者数	37,804人	ボラン ティア数	254人
【特徴的な活動】 <ul style="list-style-type: none"> ・福祉委員会ホームページの作成 							

（３）高齢者を敬う事業（旧敬老会事業）

対象年齢	74歳以上	対象者数	44,702人
【特徴的な活動】 <ul style="list-style-type: none"> ・小学校児童からのメッセージ配付 ・地区内数か所に分かれて記念品の手渡し 			

（４）歳末たすけあい事業

実施 地区数	22地区	実施回数	360回	延べ 参加者数	5998人	ボラン ティア数	1,917人
【特徴的な活動】 <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会を通じてクリスマスプレゼントを配付 ・対象エリアを分けたサロンでクリスマス会の開催 							

(5) ぷらっとホーム事業

実施 地区数	11地区	実施回数	1,055回	延べ 参加者数	14,586人	延べボラン ティア数	5,470人
-----------	------	------	--------	------------	---------	---------------	--------

①中条地区福祉委員会

名 称	ぷらっと中条
開催日時	月6回程度 火・木曜日（不定期） 午前9時30分～11時30分
内 容	飲み物（お菓子付き）の提供
その他	手芸、折り紙、健康講座、押し花などの企画

②玉櫛地区福祉委員会

名 称	ティータイム りんりん
開催日時	毎週火・金曜日 午前9時～12時
内 容	飲み物（お菓子付き）の提供
その他	【第2金曜日のみ】 シフォンケーキセットの提供（生活支援センター「あい」より） 【不定期】 子ども会対象の焼き芋会

③三島地区福祉委員会

名 称	こみゆにてい かふえ ぷらぷら
開催日時	毎週土曜日 午後1時～4時
内 容	コーヒー、紅茶、ソフトドリンクなど
その他	キッチンカーによるクレープ販売等

④太田地区福祉委員会

名 称	地域の憩いの場 RanRan
開催日時	毎週月・火・金曜日 午前10時～午後3時 夏休み企画 出張 RanRan（太田公民館）
内 容	飲み物（お菓子付き）の提供
その他	展示作品、野菜・果物販売

⑤天王地区福祉委員会

名 称	ぷらっとホーム ウエنز
開催日時	毎週水曜日 午後1時30分～4時
内 容	飲み物（お菓子付き）の提供
その他	くじ募金の実施（共同募金への協力）

⑥沢池地区福祉委員会

名 称	丘の家～愉楽～
開催日時	毎週木曜日 午後１時３０分～４時
内 容	飲み物（お菓子付き）の提供、折り紙や小物づくり
その他	隣接する沢池幼稚園との交流（ミニミニ敬老会、ミニミニ音楽会） くじ募金の実施（共同募金への協力）

⑦新郡山地区福祉委員会

名 称	ぷらよりサロン
開催日時	第１・４木曜日 午後１時～３時
内 容	飲み物（お菓子付き）の提供 輪投げ、オセロ、カードゲーム等を常置 健康体操
その他	飲食の持ち込みも可能

⑧水尾地区福祉委員会

名 称	プラットホーム水尾
開催日時	①毎週月・水・金曜日 午前１１時～午後２時 ②毎月第１火曜日 午後１時～３時３０分 ③毎月第３土曜日 午前１０時～１２時
内 容	手作り料理・飲み物の提供 子育てサロン 健康体操（リバイバルダンス）、童謡、唱歌、脳トレクイズ

⑨耳原地区福祉委員会

名 称	子民家“よってこ”
開催日時	毎週木曜日 午後１時～３時
内 容	飲み物（お菓子付き）の提供、高齢者の居場所作り
その他	毎月最終火曜日 午後４時～６時３０分 学校の長期休暇期間は午前１１時～午後２時 子どもとその保護者のための「子民家よってこ食堂」を開催

⑩白川地区福祉委員会

名 称	Le lien（ル・リアン）
開催日時	毎週水曜日 第１・４木曜日 午後１時～３時３０分 その他随時
内 容	飲み物（お菓子付き）の提供、
その他	健康体操、Baby&KidsDay、フリースペース（土曜カフェ、簡単ランチ）

⑪西地区福祉委員会

名 称	憩いの家
開催日時	①第1・3月曜日 午前10時～11時30分 ②第2月曜日 午後1時30分～3時 ③毎週火曜日 午後1時30分～4時 ④毎週水曜日 午後1時30分～3時 ⑤毎週木曜日 午後1時30分～4時 ⑥毎週金曜日 午後1時30分～4時 ※いずれも第5週目は休み
内 容	①子育てパパ・ママ集いの日（親子へ場の提供） ②写経の日（講師による季節ごとのお話と写経） ③ふれあいカフェ（飲み物とお菓子の提供） ④健康すいすい水曜日（ウォーキング） ⑤健康麻雀を楽しむ日（麻雀を通して交流を深める） ⑥小物づくりカフェ（ハンドメイドを楽しむ）

（6）地区福祉委員会行動計画の策定について

地区福祉委員会数	33地区	計画策定済地区数	11地区
----------	------	----------	------

【事業評価】

計画策定が目的とならないよう、まずは地区福祉委員会活動の目的や現状について振り返ることの大切さを地区担当職員から地区福祉委員会へ投げかけ、一緒に協議を重ねることができるよう計画策定に向けた基盤をつくりました。

地域により“地域福祉”は異なり、各地区福祉委員会によって活動の理念は異なります。その反面、担い手不足はどの地域にも共通する課題になっており、参加型・協働型の地域福祉活動を創る必要性も高まっております。

理念の浸透、活動を創る仕組みづくりに繋がる計画と実践、振り返り（進捗管理）を繰り返しながら好循環を生み出すことができるよう進めていきます。

(7) 地区福祉委員長連絡協議会

福祉委員会活動の発展と向上のために、各地区福祉委員会同士での情報交換や協議、並びに本協議会及び茨木市との連携を図ることを目的に組織しています。

令和6年度は、地区福祉委員会同士が交流を深め、各地区の想いや課題を共有しながら地区福祉委員会活動の目的や役割について考えることができるよう、本協議会としては、地区福祉委員長連絡協議会が主体的に協議を重ねていけるよう支援を行いました。

会議	開催回数	主 な 協 議 連 絡 事 項	出席者数
二役会	(計3回) 4.23 10.11 2.3	<ul style="list-style-type: none"> ・総会について ・総会 ・高齢者を敬う事業について ・地区福祉委員会行動計画について ・賛助会員募集について ・意見交換会について ・連絡協議会研修について ・補助金及び予算・決算について ・令和6年度福祉委員会活動の振り返り ・令和7年度今後の福祉委員会活動について 	8人
役員会	(計3回) 5.13 11.19 3.7		21人
全体会	(計3回) 5.24 12.6 3.21		120人

その他	開催回数	内容	出席者数
意見交換会	12.6	連絡協議会、茨木市社会福祉協議会、茨木市の3者で意見交換をすることで、地区福祉委員会活動のさらなる充実と発展を目指すことを目的に開催	委員長・ 社協職員・ 茨木市職員 34人

【事業評価】

令和6年度は、高齢者を敬う事業や意見交換会など、連絡協議会として各地区福祉委員会がどうしていきたいかを主体的に協議する機会を多く設けることができました。

連絡協議会の目的でもある『福祉委員会活動の発展と向上』のため、今後も共有した各地区の課題と向き合い、福祉委員会同士で共感しながら主体的に解決していく力を育むための協議ができるようサポートしていきます。

(8) IBARAKIコミュニティ・カーシェアリング事業

「車という手段を用いて、地域住民同士が想いを共有し、話し合いを重ねながら自らの力で願いを叶えていく（課題解決をしていく）」ことを目的として実施しています。

また、地域住民と専門職、各団体、企業が課題解決に向けて協働できる体制（包括的支援体制）を構築することを目指します。

○参画メンバー

玉櫛地区福祉委員会、石河地区福祉委員会、見山地区福祉委員会、豊川地区福祉委員会、穂積地区福祉委員会、
地域包括支援センター常清の里、清溪・忍頂寺・山手台地域包括支援センター、
豊川・郡山・彩都西小学校区CSW、清溪・忍頂寺・山手台小学校区CSW

○参画会議

地区福祉委員会を主軸とし、ボランティアや地域包括支援センター、CSWなど本事業に関わりのある者で話し合い、想いや課題を共有することを目的に行っています。

事業の実施状況

全 体 4月：全戸配布の本協議会広報誌「社協だより」にて事業のPR
8月：全戸配布の本協議会広報誌「社協だより」にて事業のPR
9月：新規運転ボランティアを対象に運転適性検査を実施
2月：全戸配布の賛助会員募集のチラシにて事業のPR
地区福祉委員長連絡協議会にて活動状況の共有
※12月～2月に運転適性検査を実施
※随時社会福祉協議会ホームページ、SNSにて本事業の情報発信

実施地区福祉委員会

①玉櫛地区福祉委員会

実施回数	5月～10月（計6回のうち2回は雨天中止）
場所	地区内各児童遊園
内容	移動型出前サロン 福祉委員会が地域住民の近くまで出向き、各児童遊園でサロンを開催することで、様々な世代の方と交流を図り、身近な方々を知る機会をつくりました。 （参加者延べ113人、スタッフ延べ64人）
対象	近隣住民どなたでも

②穂積地区福祉委員会

実施回数	4月、5月、6月（計3回）
場所	穂積地区内→穂積コミュニティセンター
内容	食事会会場までの送迎（参加者延べ3人、スタッフ延べ6人）
対象	食事会参加者

③豊川地区福祉委員会

実施回数	4月～3月（計65回）
場所	豊川地区内→アル・プラザ茨木（スーパーマーケット） 豊川地区すくくっ子まつり、豊川地区やよいまつり
内容	買い物支援、移動支援（参加者延べ243人、スタッフ延べ130人）
対象	豊川地区にお住まいの方

④石河地区福祉委員会(大岩地区、安元地区、生保地区)

実施回数	4月～3月(計40回)
場所	石河(大岩、安元、生保)地区内→病院、スーパーマーケット、理美容室等
内容	移動支援、通院支援(参加者延べ42人、スタッフ延べ40人)
対象	石河(大岩、安元、生保)地区にお住まいの方

⑤見山地区福祉委員会

実施回数	4月～3月(計18回)
場所	見山地区内→病院、老人会会場、スーパーマーケット、敬老会
内容	移動支援(参加者延べ41人、スタッフ延べ18人)
対象	見山地区にお住まいの方

【事業評価】

(全体)

本事業を展開するにあたり、話し合いやルール作りを必ず行い、振り返りまで行うことで、地区福祉委員会と地域包括支援センターやCSW、本協議会が協働する機会が増え、互いに支え合う関係性が構築できました。

また、専門職や利用者、ボランティアに留まらず地域住民が自身の地区の課題に気付くきっかけとなり、ニーズの発信や対象者の把握等の地域福祉の担い手としての役割を認識することができ、地域力の向上に繋がりました。

令和6年度は「大阪府福祉基金地域福祉振興助成金地域福祉推進助成」の事業評価として最高評価をいただき、本事業の重要性が認められました。

(買い物支援、移動支援、通院支援)

買い物や通院、食事会への参加など様々な場面での活用がされている本事業は、友人とのひと時や新しい出会い等移動手段としてだけではなく、本事業だからこそできるその人がその人らしく生活できる一助として重要な役割を果たしており、それにより、外出意欲の向上やコミュニティへの積極的な参加、ニーズの発見にも繋がっています。

また、活動状況を随時発信することにより、ボランティアに住民から声掛けもあり、住民の興味や関心が高まっています。

その中で市内北部では、路線バスの廃止や減便により特に関心が強く、地域の諸団体と地区福祉委員会、本協議会と共に話し合いを重ねながら範囲拡大を行うなど、住民一人一人が地域の課題に対して考え、地区の中で話し合う動きが出てきています。

(出前サロン)

『自宅から会場までは遠くてサロンに参加できない』といった課題を解消するために始まった出前サロンも4年目となりました。近くの公園に出前サロンが来ることを楽しみにして下さる地域の方がいたり、土・日に公園で開催するからこそ子育て世帯に参加を呼びかけやすかったり、地区福祉委員会は出前サロンを実施しながら運営方法を改善し、考え成長し続け、継続することの大切さを改めて感じている事業です。

ドライバーとしてなら協力できるという若い男性の協力者も現れ、地区福祉委員会事業の新たな参画者を創る活動にもなりました。

8 茨木市コミュニティソーシャルワーカー（CSW）配置事業について

（担当地域：茨木・中条、大池・中津地区）

茨木市より委託を受けて、茨木市内 14 地区のうち茨木・中条地区と大池・中津地区にそれぞれ 1 人ずつ、2 人で担当し活動しています。

地域住民に寄り添いながら、健康福祉セーフティネット会議の実施や、関連機関と連携しています。

（1）茨木・中条地区

①対象者別の集計

分 類	延べ件数	件数
高齢者（65歳以上）	666	63
（うち）1人暮らしの高齢者	486	34
（うち）高齢者のみの世帯	69	15
障がい者	1063	39
（うち）身体障がい者	15	2
（うち）知的障がい者	152	3
（うち）精神障がい者	1040	34
児童（15歳以下）	29	4
子育て中の親	477	12
（うち）ひとり親	204	6
青少年（16歳以上39歳以下）	309	10
DV被害者・被虐待者	0	0
ホームレス	0	0
外国人	44	2
その他	787	34
合 計	3,375	164

②相談項目別の集計

相談内容	延べ件数	件数
障害児者に関する事	102	7
高齢者に関する事	166	1
その他の福祉制度	50	2
生活に関する身近な事	1176	50
健康・医療関連	642	36
年金に関する相談	175	2
生活困窮に関する事	663	13
就労に関する相談	200	2
財産管理・権利擁護に関する相談	2	1
消費者問題に関する相談	1	1
ローン・多重債務関連	180	3
DV・虐待関連	55	11
地域活動・ボランティア関連	0	0
住宅に関する相談	248	3
子育て・教育関連	251	8
外国人に関する相談	3	1
当事者組織に関する相談	0	0
安否に関する事	136	7
その他	17	2
合 計	4,067	150

③ケース検討会 14 回

④各種サービスの利用申請 16 回

(2) 大池・中津地区

①対象者別の集計

分 類	延べ件数	件数
高齢者（65歳以上）	513	65
（うち）1人暮らしの高齢者	313	22
（うち）高齢者のみの世帯	48	12
障がい者（重複含む）	1077	37
（うち）身体障がい者	29	4
（うち）知的障がい者	330	5
（うち）精神障がい者	718	28
児童（15歳以下）	79	12
子育て中の親	429	11
（うち）ひとり親	399	4
青少年（16歳以上39歳以下）	435	10
DV被害者・被虐待者	71	4
ホームレス	2	1
外国人	2	1
その他	165	3
合 計	2,773	144

②相談項目別の集計

相談内容	延べ件数	件数
障害児者に関する事	571	23
高齢者に関する事	419	40
その他の福祉制度	7	1
生活に関する身近な事	335	30
健康・医療関連	539	25
年金に関する相談	24	1
生活困窮に関する事	492	22
就労に関する相談	234	7
財産管理・権利擁護に関する相談	174	7
消費者問題に関する相談	2	1
ローン・多重債務関連	77	6
DV・虐待関連	178	18
地域活動・ボランティア関連	40	6
住宅に関する相談	447	17
子育て・教育関連	318	18
外国人に関する相談	1	1
当事者組織に関する相談	0	0
安否に関する事	42	10
その他	0	0
合 計	3,900	233

③ケース検討会 24 回

④各種サービスの利用申請 7 回

【事業評価】

両地区ともに子育てやDV・虐待等の相談が増え、また昨年同様に生活困窮や就労に関する相談、精神疾患を抱える方の相談も増えました。

複合的な課題を抱える方への対応にあたっては、乳児から高齢者に関わる様々な専門機関や地域の福祉委員、民生委員児童委員の方々など多職種で連携してケースを支える機会が多くありました。

今後も様々な問題を抱える方に寄り添って支援していけるよう、研修会の参加等によりスキルアップに努め、また地域の身近な相談員として関係機関と連携をより深め、社会的に孤立される人が一人でも少なくなるよう、地域支援活動に取り組んでいきます。

9 当事者組織の育成と支援について

(1) 老人介護家族の会

介護の当事者でないと理解できない葛藤や悩みを共有できる場として、また、介護保険制度を中心とした介護に関する各種情報を収集するための勉強会の場を提供することで、介護者を後方支援する役割を果たしています。

また、社協だよりや広報いばらきにも会員募集の案内を掲載することで、茨木市内在住の介護に不安を抱える方々からの問い合わせも受け付けています。

1) 会員数

会員 100人
賛助会員 33団体

2) 会議等

内 容	回 数	出席者数
総会	1 回	28人
家族の会つどい (いつまでも茨木で暮らせるように、低栄養の予防 等)	8 回	延199人
リフレッシュ事業 (真言宗総本山仁和寺)	1 回	30人
役員会	12回	延84人
いこいのカフェ	10回	延120人
会報「会だより」発行	6 回	

3) 関係機関・他会との交流会、研修会

月 日	内 容
4. 24	大阪府介護者（家族）の会役員会
5. 21	大阪府介護者（家族）の会連絡会解散総会、交流会

4) 会議等への出席

月 日	内 容
5. 21	大阪府介護者（家族）の会連絡会総会
6. 21	茨木市社会福祉協議会評議員会
7. 4	障害者・高齢者虐待防止ネットワーク連絡会
10. 31	いばらきオレンジカフェ連絡会
11. 28	茨木市高齢者施策推進分科会
1. 20	障害者・高齢者虐待防止ネットワーク連絡会研修会
3. 25	茨木市社会福祉協議会評議員会
3. 25	茨木市総合保健福祉審議会

【事業評価】

会員の固定化や高齢化、新規会員の減少といった課題はありますが、社協だよりや市の広報誌へ会員募集を掲載したところ問い合わせもあり、加入につながっています。

一方で「介護が終わった」「活動に参加出来る時間がない」という理由から退会される方もいるため、会員数としては昨年度と同数となっています。

次年度も引き続き、介護の当事者でないと理解できない葛藤や悩みを共有できる場という役割を周知し、介護家族が孤立しないように会の啓発活動に協力していきます。

(2) 発達障がいの子どもの将来を描く親の会「あかね空」

発達障がいの子どもの持つ親達が子ども達の将来のことを考え、障がいがあっても生まれ育った場所で子ども達らしく安心して暮らせるようにするなど親同士が連携し会員相互の交流を深めることで、発達障がいの子どものとその親を取り巻く環境等を含めた福祉全般の向上を図る活動をしています。

1) 会員数

会員 12人

2) 会議等

内 容	回数	出席者数
総会	1 回	28人
あかね空サロン	11回	延48人
講師派遣 ふくろう広場、ふくろうニコニコ広場、森のひろば、職員接遇研修(IDF)、 保育人権研修、保護者会	7 回	延123人
団体交流会	1 回	13人
内部研修会 防災研修について(防災食試食会、障害児防災講習会)	1 回	10人

【事業評価】

令和6年度もサロン活動の場所提供など活動のサポートをするとともに、あかね空サロン開催の周知に協力しました。

引き続き、より多くの方に活動を知ってもらうため、本協議会のホームページや広報誌を活用したPRを行い、活動を支援します。

(3) 医療的ケアを必要とする児童に対する就学支援の拡充をめざす会

医療的ケアを必要とする児童・生徒が特別支援学校に就学するにあたり、健常者の児童と同様の環境で教育を受けられるように就学環境の向上をめざして活動しています。

1) 会員数

会員 16人

2) 会議等

内 容	回数	出席者数
啓発イベント 講演 「医療的ケア児の在宅生活とは～保護者支援者の視点から～」 報告 「大阪府茨木保健所が取り組む慢性疾患児や難病患者に対する 災害対策」 パネルディスカッション テーマ 「医療ケア児が災害時に直面する課題や必要となる社会支援とは」 医療的ケア児支援に関する模擬体験	1 回	150人

【事業評価】

昨年度に続き、医療的ケア児の保護者や医療・福祉・教育関係者による交流や対話を通じて、「共生社会」を市民との連携や協働によって作り上げていくために、啓発イベントの開催を支援しました。

また、本協議会としては茨木保健所の協力依頼を受けて災害時における福祉車両移送訓練をシミュレートしたことで、移送における課題の洗い出しや、ボランティアと関係機関の間の連絡・協力体制の必要性の認識を深めることが出来ました。

10 児童養護施設支援活動事業について

(1) 児童養護施設支援

市内3か所の児童養護施設の子どもたちを対象に、季節に応じた行事への招待事業や訪問事業等を、共同募金や歳末たすけあい募金を活用して行います。

また、施設と地域との顔の見える関係を継続するための後方支援も行っています。

月 日	場 所	活動内容および参加者数
8.20～ 8.21	茨木市青少年 野外活動センター	児童養護施設キャンプ事業 参加：救世軍希望館 23人、子どもの家 25人
12.24	3 児童養護施設	クリスマス訪問(お菓子の配布)、お年玉の配布 救世軍希望館 47人、子どもの家 42人、 レバノンホーム 33人 計122人
3.24	3 児童養護施設	児童養護施設中学卒業生お祝い事業 各施設を訪問し記念品やお菓子を配布する。 救世軍希望館 3人、子どもの家 4人、 レバノンホーム 2人 計9人

【事業評価】

茨木キャンプについては、市青少年課の協力で、趣向を凝らし日常とは少し違った体験ができたことから、参加した児童には大いに楽しんでもらえました。

クリスマス行事については、恒例となったお菓子の配布の他に、令和6年度も市内事業者から果物やケーキの寄付もあり、各施設に配布することが出来ました。

中学卒業生お祝い事業については、中学校を卒業する大きな節目にあたって記念というだけでなくこれからの生活でも役立つ品を配布し、中学卒業生の前途を祝うことが出来ました。

(2) 「子ども“わいわい”ネットワーク茨木」との連携

役員として運営に参画し、本部とブロックの事業運営に対して連携、支援を行います。

月日	場 所	主 な 内 容	出席者
4.26	社協会議室	1) 本部・ブロック令和5年度事業・決算報告について 2) 令和6年度事業計画・予算について 3) みんな集まれボランティアについて	1人
7.26	社協会議室	1) わいわいフォーラムについて 2) 25周年記念事業について	1人
3.6	社協会議室	1) 本部・ブロック令和7年度活動計画(案)、 本部令和7年度予算(案)について 2) 25周年記念事業について	1人

【事業評価】

わいわいネットワークとボランティアセンターや地区福祉委員会との連携による継続した事業を通じて、親子支援を幅広く展開できました。

1 1 生活福祉資金貸付事業について

低所得者や生活困窮者等を対象に資金の貸付を行いますが、貸付だけでなく、継続した支援が必要な方には、相談支援機関とも連携してサポートもしています。

(1) 各種貸付資金状況

貸付資金種類		相談件数	貸付決定件数	貸付総額（千円）
福祉資金	生業経費	6	0	0
	技能習得経費	5	1	292
	住宅改修経費	4	0	0
	福祉用具等購入経費	2	0	0
	障がい者用自動車購入経費	1	0	0
	中国残留邦人等にかかる経費	0	0	0
	療養費・生計維持経費	16	0	0
	介護サービス等の経費	1	0	0
	災害臨時経費	0	0	0
	冠婚葬祭経費	2	1	352
	住居移転経費	29	0	0
	就職、技能習得等の支度経費	0	0	0
	その他日常生活経費	34	5	623
	教育支援費（就学支援費を含む）	47	18	11,402
	計	147	25	12,669
総合支援資金 （生活支援費、住宅入居費、 一時生活再建費含む）		56	1	150
臨時特例つなぎ資金		0	0	0
不動産担保型生活資金		7	0	0
緊急小口資金		159	7	636
生活復興支援資金		0	0	0
合 計	R 6 年度	369	33	13,455
	R 5 年度	361	45	21,756

(2) 新型コロナウイルス特例貸付フォローアップ支援事業

令和5年1月より、償還が始まることに伴う償還困難との相談があった世帯に対して、償還猶予や少額返済の相談受付及び手紙での状況把握、自立相談支援機関（あすてっぷ茨木）との連携等によるフォローアップ支援を行っています。

また償還が開始されて以降、償還をされていない方に電話等で現状把握を行うなど、借受人が自立した生活が出来るように対応をしています。

①個々の状況に配慮した償還猶予等の案内

相談対応（電話、窓口、郵送）	275 件
猶予期間中支援（電話、窓口、郵送）	478 件
自立相談支援機関との連携	11 件

○取り組み内容

- ・ 償還の免除や猶予、少額返済に関する問い合わせ等への対応、償還免除申請手続きの案内や書類作成の支援をする。

- ・償還免除対象外で、償還困難との相談があった借受人に対する償還猶予申請の案内や相談、面談、申請受付および意見書作成をする。
- ・猶予受付日より3か月経過後の猶予対象者に対し、書面にて状況確認を行う。
- ・返送された猶予対象者に電話にて生活の困りごと等を聞き取り、必要があれば自立相談支援機関やCSWへつなぐ。
- ・猶予期間満了対象者の意見書を作成する。

②借受人へのフォローアップ支援

相談対応（電話、窓口、郵送、訪問） 733 件

○取り組み内容

電話及び来所による相談に対して生活状況等を確認し、必要に応じて自立相談支援機関へ繋ぎ、免除決定してもなお困窮状態が続く借受人に対し、生活状況に応じて本則の貸付を案内する。

- ・滞納者に対し、償還の案内の文書を郵送する。
- ・宛所不明で返送された借受人には架電し、償還手続きや住所変更、償還免除等を案内する。
- ・返送された借受人を訪問する。

③償還免除申請に未応答の借受人へのフォローアップ支援

相談対応（電話、窓口、郵送） 1,500 件

○取り組み内容

- ・対象者リストに基づき、電話にて償還手続きや償還の免除、猶予等を案内する。
- ・生活にお困りの方に対し、自立相談支援機関を案内する。
- ・未応答者全員に償還に関する案内文書を郵送する
- ・宛所不明で返送された借受人には架電し、償還手続きや償還免除猶予等を案内する。
- ・返送された借受人を訪問する。
- ・地区保健福祉センター及び生活困窮アウトリーチ支援員との連携。

【事業評価】

生活福祉資金貸付事業については、相談件数は昨年とほぼ同じですが、貸付の対象とならない事例が大部分でしたので、今後は、本協議会による制度内容の周知や自立相談支援機関（＝あすてっぷ茨木）との情報共有、連携を強化していきます。

教育支援資金の相談や申請件数は、令和6年度より大阪府育英会の入学時増額奨学資金の貸付限度額が増えたことや、令和7年度より高校授業料が無償化になることから、今後も減少するものと思われます。

新型コロナウイルス特例貸付フォローアップ支援事業については、貸付及び償還に関する猶予案内や免除申請等の受け付けだけでなく、生活状況を聞き取ることで相談者の生活上の困りごとやニーズを掘り起こすことを重視したことで、あすてっぷ茨木や他制度、従前の福祉資金貸付等に繋ぐことが出来、また地区保健福祉センターと連携して65歳以上の償還に関する猶予案内等の未応答者宅へ同行訪問を開始しています。

今後は、訪問の対象を65歳未満の借受人等にも広げ、訪問により接触できた方には、償還に向けた働きかけのほか、償還困難な方には猶予や免除制度の説明に努めつつ、困窮等で生活の破たんが心配される方については、関係機関へ繋いでいくなど、相談支援等を関係機関と協力・連携しながら実施していきます。

12 日常生活自立支援事業について

判断能力が十分でない方の福祉サービスの利用援助や金銭管理を通じ、利用者の権利と生活の安全を守りながら地域の中で安心して本人が望む暮らしを続けられるよう支援しています。※（ ）内は令和5年度実績

(1) 相談、問い合わせ件数

(人)

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合 計
82 (110)	75 (30)	90 (116)	7 (3)	254 (259)

(2) 契約締結件数、解約件数

(人)

	前年度末 契約件数 (A)	新 規 契約件数 (B)	解約件数 (C)	令和6年度末 実施件数 (A+B-C)	うち 生活保護 受給者
認知症高齢者等	24 (27)	1 (3)	7 (6)	18 (24)	10 (16)
知的障がい者等	29 (31)	5 (0)	2 (2)	32 (29)	9 (11)
精神障がい者等	38 (35)	1 (6)	2 (3)	37 (38)	26 (28)
合 計	91 (93)	7 (9)	11 (11)	87 (91)	45 (55)

(3) 契約前の訪問相談件数

(人)

認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合 計
21 (24)	23 (2)	21 (26)	0 (0)	65 (52)

(4) 生活支援員活動件数

(人)

	認知症高齢者等	知的障がい者等	精神障がい者等	その他	合 計
総件数	772 (1,023)	949 (1,203)	1,374 (1,458)	0 (0)	3,095 (3,684)
うち生保	522 (675)	362 (546)	1,177 (1,204)	0 (0)	2,061 (2,425)

(5) 会議、研修会等への出席

大阪府社協担当者・生活支援員会議 運営監視小委員会 面接相談援助技術基礎講座
 茨木保健所精神保健福祉関係機関職員研修「高齢期の精神疾患の理解と対応」
 地域ケア会議 社協内研修

【事業評価】

権利擁護相談センターいばらきの開設に伴い、新規相談や既存の利用者について本事業が成年後見制度の利用が適切かを判断し、スムーズな利用につながるよう努めていますが、実際の待機者解消などにはまだつながっていません。

令和6年度は人材育成に注力しましたが、来年度も人材育成を継続し、職員体制を整備しながら、待機者数の減少及び待機期間の縮小に努めます。

1 3 権利擁護相談センターいばらき運営事業について

令和6年7月より権利擁護相談センター「いばらき」を開設しました。

開設に伴い関係機関への啓発を進め、多くの相談対応を行うとともに関係機関職員や市民に向けた研修・講座も実施することで、権利擁護についての理解の底上げを図りました。

権利擁護相談センターの運営に関しては、学識経験者や弁護士会、司法書士会、社会福祉士会、市職員からなる運営委員会の意見を基に、茨木市との連携を取りながら進めます。

(1) 運営委員会

月 日	場 所	主 な 案 件	出席者
6. 21	水道部会議室	1) 令和6年度運営方針について 2) 令和6年度の予定について 3) 三士会との連携について	10人
11. 22	社協会議室	1) 令和6年度上半期の取り組み状況について 2) 令和6年度下半期の取り組みについて 3) 令和7年度運営方針、事業計画（案）について	11人
3. 21	社協会議室	1) 令和6年度の実績報告について 2) 令和7年度事業計画について	10人

(2) 広報・啓発活動

- ①「権利擁護センターいばらき」チラシを作成、随時配布
- ②社会福祉協議会ホームページへのセンター案内の掲載
- ③広報誌「社協だより（215号）」への活動内容の掲載
- ④関係機関（者）への周知

行政（福祉部、人権・男女共生課）、民生委員児童委員協議会、地域包括支援センター、障害者相談支援センター、CSW 連絡協議会、いのち・愛・ゆめセンター、地区保健福祉センター、地区福祉委員長会

(3) 研修会

月 日	場 所	主 な 内 容	出席者
6. 5	社協会議室	職員向け研修 「茨木市社協 どうする？□□□する！」	26人
6. 21	社協会議室	職員向け研修 「センター開設前に必要な知識や技能等について」	25人
7. 12	社協会議室	職員向け研修 「成年後見制度と日常生活自立支援事業について アセスメントシートを活用して考える」	20人
8. 24	おにクル 7階会議室	市民向け研修 「成年後見制度と日常生活自立支援事業」	27人
3. 21	社協会議室	職員向け研修 「意思決定支援について」	25人
3. 27	合同庁舎 4階会議室	市民後見人バンク登録者研修 「日常生活自立支援事業について」	8人

(4) 相談機関の後方支援

月 日	場 所	主 な 内 容
10. 30	社協会議室	意見交換会 地域包括支援センター、障害者相談支援センター
12. 11	豊川 いのち・愛・センター	事業説明及びケースアドバイス 地域ケア会議（北圏域：豊川・郡山・彩都西）

(5) 相談対応実績（相談内容の件数は重複があります）

(件)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
月間相談件数				2	7	3	7	3	3	8	3	3	39
相談内容（重複）				2	10	3	7	3	3	8	3	3	42
センター				1	2	0	1	0	2	1	0	0	7
権利擁護全般				0	6	2	3	1	0	0	1	1	14
後見制度				0	1	0	3	1	1	7	2	2	17
日常生活自立支援				1	1	1	0	0	0	0	0	0	3
住まい				0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
問合せのみ				2	3	2	3	0	1	0	0	2	13
助言				0	3	1	4	3	2	8	3	1	25
アセスメント				0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

(6) その他

○外部セミナー等への参加

市民後見人養成・活動支援事業実施市町村等担当者会議

成年後見制度利用促進セミナー

大阪府「市民後見人」養成講座

大阪府中核機関設置市連絡会

成年後見制度実務者のための事例検討会

【事業評価】

権利擁護に関する相談窓口として活動を開始しましたが、当初想定した関係機関からの相談だけでなく市民からの直接の相談もあり、『権利擁護』に関する関心の高さが表面化したものと考えられます。

成年後見制度の活用に向けた相談においては、対象者の心身の状態や生活の状況、家族関係などの聞き取りや面談に何うなど丁寧な対応が必要なことから、ケースごとに時間を要するため相談に対応する職員の増員及び技能の向上が課題として残りました。

14 ボランティアセンター運営事業について

ボランティア活動をしたい方とボランティアに援助を求める方をつなぐ役割として、ボランティア活動に関する情報の提供や調査、ボランティアの交流、施設・団体との連携、ボランティア講座の開催等ボランティアセンターの運営を行います。

(1) ボランティアの養成

① ボランティア体験プログラム

	月 日	協力施設・団体数	内 容	体験者数
6年度	8.1～ 3.31	15プログラム	主に夏期休暇期間で、1日から数日でも気軽にボランティア体験ができるプログラム。	延23人
5年度	8.15～ 3.31	9プログラム	主に夏期休暇期間で、1日から数日でも気軽にボランティア体験ができるプログラム。	延78人

【体験者内訳】大学生：9人、高校生：1人、社会人：7人

【体験先内訳】障がい者関係：6人、子ども関係：6人、地域：3人、その他：8人

② ボランティア講座

※「ボランティアとは(意義と役割)」については毎回講話

講座名	月 日	場所	内 容	参加者	備 考 (講師ほか)
初めての ボランティア講座	7.17	社協 会議室	・ボランティアの心構え ・先輩ボランティアの体験談 ・意見交換	8人	登録ボランティア ボランティアセンター 担当職員
夏休み ボランティア教室	①8.6 ②8.6 ③8.7 ④8.8 ⑤8.9	社協 会議室	①絵手紙講座 ②折り紙講座 ③マジック講座 ④手作りおもちゃ体験 ⑤フラダンス体験	①4人 ②11人 ③5人 ④9人 ⑤3人	登録ボランティア ボランティアセンター 担当職員
車いすであそぼう	8.21	社協 会議室	・車いすユーザーのお話 ・車いすクイズ ・車いす体験と振り返り	12人	ほくせつ24 平瀬氏 ボランティアセンター 担当職員
こどもクッキング 教室 ～防災食を作って みよう～	8.22	主原分室	・対象:おおむね小学校4年生から 6年生 ・実習「防災食の調理実習」	7人	子育て食育実行委員会 清田氏、岡村氏 ボランティアセンター 担当職員
楽しく&楽しもう 体操ボランティア 養成講座	9.28	おにクル 7階 会議室3	・体操ボランティアの活動 紹介 ・スクエアステップ体験	3人	口腔栄養とステップ普及会 ブリリアントサービスM&R
ちょっとやってみ ませんか? ボランティア入門講座 ～できるときに できることを～	10.17 10.31	社協 会議室	・車いす体験 ・高齢者疑似体験 ・転倒予防体操 ・ボランティアグループ「あじさ い」活動紹介	7人	口腔栄養とステップ普及会 ブリリアントサービスM&R 【共催】 ボランティアグループ 「あじさい」

視覚障がい者 サポート ボランティア 養成講座	11. 11	社協 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・当事者の話と座談会 ・手引きグループ「クローバー」の支援活動紹介 ・実技の見学及び体験 ・ボランティア活動紹介及び懇談 	9 人	茨木市視覚障害者福祉協会 【協力】 ボランティアグループ 「クローバー」
精神保健 ボランティア 入門講座	11. 27	社協 会議室	<ul style="list-style-type: none"> ・こころの病を抱える方の理解 ・茨木市での障害福祉サービスについて ・ボランティアが関わる重要性 ・ボランティア活動紹介 	12 人	菜の花 障害者相談支援センター 【共催】 精神保健ボランティア 「夢ふうせん」

③自主イベント、居場所支援

※参加者の（ ）内はボランティアスタッフの参加者数

イベント名	月 日	場 所	内 容	参加者	備 考（講師ほか）
ボラ♡かふえ ～健康麻雀～	毎週月曜 計42回	主原 分室	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症予防と交流のための健康麻雀 ・初心者から初級者が対象 	延640人 (延92人)	登録ボランティア
ボラ♡かふえ	毎週 火・金曜 計83回	主原 分室	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによるカフェの運営、居場所づくり 	延484人 (延218人)	毎月1～2回 イベント実施
ひまわりカフェ	計9回	南保健福祉 センター	<ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアによるカフェの運営、居場所づくり 	45人 (延55人)	ボランティアグループ 「あじさい」協力

④主原分室他催し

	イベント名	日時	参加人数
1	クラフトペーパー講座	4/16、6/18、8/22 14時～15時30分	26人(10)
2	編み物教室	4/23、5/16、6/11、7/9、8/20、9/10、11/12、12/10、1/14、3/11 14時～15時30分	98人(30)
3	折り紙教室	4/30 14時～15時30分	11人(5)
4	スマホ教室	7/16 14時～15時分	2人(3)
5	歌声喫茶	7/25、10/8、11/5、12/3、1/16、2/6、3/4 14時～15時30分	46人(20)
6	フェルトで遊ぼう	8/1、8/27 14時～15時30分	8人(5)
7	大人絵本を楽しむ	9/17、12/19 14時～15時30分	12人(8)
8	チラシ小物づくり	9/24、1/30 14時～15時30分	11人(6)
9	紙紐箱づくり	10/1、11/26 14時～15時30分	12人(4)
10	筆ペン講習会	11/21、12/17、1/21、2/18、3/27 14時～15時30分	46人(14)
11	歌体操教室	12/5、3/6 14時～15時30分	16人(7)
12	クリスマス会	12/24 14時～15時30分	5人(2)
13	アイスクリーム無料 DAY	8/1、8/20、8/22、8/27 14時～15時30分	27人(8)
14	ぜんざい無料 DAY	1/7 13時30分～16時	6人(2)

※参加者の（ ）内はボランティアスタッフの参加者数

⑤登録ボランティアグループ定例会への支援

	延べ件数	ボランティア参加 延べ人数	備考
6年度	60回	510人	各月一回程度 8グループ
5年度	72回	612人	各月一回程度 8グループ

(2) 啓発活動

月 日	対 象	広報誌／場所	内 容	参加人数
4. 27	市 民	みんな集まれ!! ボランティアinいばらき	・ボランティア活動や福祉団体の啓発 ・ボランティア同士の交流	1,000人
年3回	市 民	茨木市社協だより	「ボラセン通信」にて、活動報告や講座の案内等を発信	各回 約14万部
1. 9～ 1. 11	市 民	いばらき孫・子・老 フェスタ	茨木市社会福祉協議会および“認知症マップ” (※)の啓発 ※円柱型のニット小物	—

(3) 他団体・機関での講座・研修会等への講師派遣協力

月 日	対 象	場 所	内 容	参加者
4. 18	茨木高等学校 ボランティア部	茨木高等学校	ボランティアの説明および活動紹介	5人
5. 23	就労支援センター オンワーク利用者	社協会議室	ボランティアについて、車椅子体験	13人
1. 31	シニアカレッジ インターンシップ受講生	社協会議室	ボランティアとは ボランティア活動の紹介 車いす体験	1人
2. 9	きらめきフェスタ2024 ボランティアスタッフ	生涯学習センター きらめき	基本的なボランティアについての考え方	5人
2. 27	西河原多世代交流センター 登録ボランティア	西河原多世代 交流センター	ボランティアとは	25人
2. 27	就労支援センター オンワーク利用者	社会福祉協議会 主原分室	ボラ♡かふえにて、お茶を出す等、ボラン ティア体験	10人
3. 24	就労支援センター オンワーク利用者	庄栄 コミュニティ センター	老人クラブのサロンでのボランティア活 動、参加者との交流を通して社会活動を 体験	12人

(4) ボランティア活動状況

①ボランティア登録者

	総数	内訳		
		グループ数	グループ加入者	個人
6年度	971人	82団体	815人	156人
5年度	956人	80団体	853人	103人

②ボランティア活動人数および内容

	高齢者関係		障がい者（児）関係		乳幼児・児童		その他		合 計		演芸ボランティア	
	活 動 延日数	活 動 延人数	活 動 延日数	活 動 延人数	活 動 延日数	活 動 延人数	活 動 延日数	活 動 延人数	活 動 延日数	活 動 延人数	活 動 延日数	活 動 延人数
6 年度	749	1, 171	590	1, 575	121	192	42	278	1, 502	3, 216	272	1, 553
5 年度	401	571	406	807	67	87	72	222	946	1, 687	272	799
主な活動内容	・レクリエーションやクラブ活動の指導、補助 ・話し相手 ・各種行事での介助 ・施設内での移動補助 ・通院、通所等での介助 ・家事援助 ・家の片付け、ゴミ出し		・作業補助 ・外出時の介助 ・各種行事での補助 ・施設内での移動補助等 ・手引き ・通院、通所、通学等での介助 ・趣味活動の補助 ・家の片付け、ゴミ出し		・通学、通園支援 ・育児中の母親の援助 ・親子サロンでの遊び相手		・多世代が集まるイベントなどの手伝い ・被災地支援活動（募金活動） ・広報ボランティアの取材や撮影				・演芸披露 ・楽器演奏 ・健康体操 ・マジック ・日本舞踊 ・フラダンス ・落語、腹話術 ・南京玉すだれ ・朗読 等	

③電話訪問ボランティア（対象者：214 人（令和 5 年度 300 人）、活動者：10 人）

		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計
活 動 延人数	6 年度	22	15	15	6	6	7	10	8	6	8	7	7	117
	5 年度	18	18	16	17	14	15	17	15	16	16	16	13	191
訪 問 延件数	6 年度	361	324	349	345	329	329	420	407	337	361	376	334	4,272
	5 年度	364	409	364	369	362	354	387	348	347	319	329	317	4,269

（５）ボランティア総合補償制度の加入取扱状況

	社協加入分				窓口受付分			
	加入件数		加入者数		加入件数		加入者数	
保険の種類	6 年度	5 年度	6 年度	5 年度	6 年度	5 年度	6 年度	5 年度
ボランティア活動保険	16	10	31	792	231	197	2,294	1,742
ボランティア行事保険	23	3	5,924	60	832	769	29,617	33,879
有償・非営利活動保険	0	0	0	0	42	41	151	150
移送中事故傷害保険	1	3	12	12	0	0	0	0
計	40	16	5,967	864	1,105	1,007	32,062	35,771

(6) ボランティアセンター運営検討委員会

運営検討委員会 3回

月 日	場 所	内 容	出席者数
7.12	社協会議室	① 新運営検討委員紹介 ② 令和5年度ボランティアセンター事業報告について ③ 令和6年度ボランティアセンター事業計画について ④ 「第30回みんな集まれボランティア!!」について ⑤ 災害ボランティアセンターについて <ul style="list-style-type: none"> ・災害ボランティアセンター設置要綱（案）について ・7月実施災害ボランティアセンター研修（6.18 北部地震を忘れない）について ・災害ボランティアセンター運営委員会（＝支援ネットワーク）結成について ・令和6年度災害ボランティアセンター運営事業計画について 	14人
10.9	社協会議室	① 令和7年度ボランティアセンター事業計画（案）について ② 担い手づくり（ボランティア登録を増やす）について ③ ボランティアセンター啓発用リーフレットについて ④ 災害ボランティアセンターについて <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度災害ボランティアセンター事業計画（案）について ・1月実施災害ボランティアセンター研修会 	11人
3.4	社協会議室	① 第2回運営委員会での意見に対する検討報告（報告） <ul style="list-style-type: none"> ・令和7年度ボランティアセンター事業計画（案）について ・担い手づくり（ボランティア登録を増やす）について ・ボランティアセンター啓発用リーフレットについて ・災害ボランティアセンターについて 令和7年度災害ボランティアセンター事業計画（案）について 1月実施災害ボランティアセンター設置合同訓練について ② 災害ボランティアセンターについて <ul style="list-style-type: none"> ・3月市民向け災害ボランティア養成講座（案） ・6月の啓発事業（研修、チラシ配布 など） ③ 第30回みんな集まれボランティア in いばらきについて	10人

(7) ボランティアセンター運営状況

	来所人数	電話、メール等、人数	相談件数	新規登録者数	
				グループ	個人
6年度	1,170人	5,259人 (延 6,774人)	105件	7グループ (40人)	180人
5年度	1,576人	6,465人 (延 8,123人)	112件	17グループ (148人)	103人

【事業評価】

（全 般）

ボランティアの活動先は新型コロナウイルス感染症の5類移行後緩やかな増加傾向にあり、ボランティアの活動状況については分野を問わず昨年度の概ね倍の活動実績となり、ボランティア活動は再開、活発化しています。

令和6年度はセンターの事業をより多くの人に知ってもらうため、研修や講座を「文化・子育て複合施設 おにクル」で開催するなど、周知啓発も努めました。

しかしながら、ボランティア登録者数はほぼ横ばいであり、今後は養成講座などをさらに充実させ、新たな担い手の確保に力を入れる必要があります。

（ボラ♡かふえ）

講座や研修などでカフェの啓発を行い、その機能や役割を知ってもらい利用につながったケースもあります。また、歌声喫茶や筆ペン講習会など、ボランティアの強みを活かした催しを新たに実施することで、「来月もやって欲しい」「とても楽しかった」と喜びの声も多く聞くようになりましたが、利用人数は若干減少していることから、より一層の周知啓発活動に努める必要があります。

人が人を呼び、新たなつながりや取り組みを生み出すことができる『ボラ♡かふえ』の機能を十分に発揮させるためには、ボランティアの可能性をうまく引き出すコーディネート力こそがセンターに求められる機能と考えています。

（広 報）

ボランティア活動情報や講座の案内、各種イベントの報告などをSNS、ホームページを活用した啓発は引き続き実施します。

また、令和6年度から市民活動センター『きゃぱす』と協働した取り組みを開始しており、ボランティアセンターやボランティア講座についても、より広く市民の目に止まりやすい工夫を引き続き検討していきます。

15 災害ボランティアセンターに関する事業について

大災害への備えとして、協定締結団体をはじめとする各種関係機関、地域住民と協働できる体制づくりに取り組んでいます。

また、有事の際、茨木市の関係各課とは速やかに連携・協力が取れるよう、平時から適宜情報共有を行い、互いの役割や活動等の確認に努めます。

①災害ボランティア講座

月 日	場 所	内 容	講師/担当	出席者数
7. 21	おにクル 7階 会議室 2	○基調講演 ・能登半島地震でのボランティア活動 ・『プロボノ(※)』活動とは ※特別な技術を要するボランティア ○災害ボランティアセンターの紹介 ・災害ボランティアセンター活動記録視聴 ・自分にできるボランティアを見つける ・災害ボランティアの活動、登録について	災害ボランティア 高田 聖矢 氏 災害復旧支援チーム茨木 渡邊 良成 氏 茨木市社会福祉協議会職員	31人
3. 27	おにクル 7階 市民交流 スペース	○出前講座 ・水害・土砂災害ハザードマップの見方について ○災害ボランティアセンターの機能と役割について ・災害ボランティアセンター活動記録視聴 ・ボランティアさんからの声 ・設置訓練の様子について	茨木市危機管理課職員 茨木市社会福祉協議会職員 災害ボランティア	10人

②災害ボランティアセンター運営での連携

月 日	場 所	内 容	対 象	出席者数
①8. 22 8. 27 ②8. 29	①社協会議室 ②千里阪急ホテル	○災害時におけるボランティア支援に関する協定締結 ○担当者の顔合わせと意見交換	茨木ライオンズクラブ 茨木オークライオンズクラブ 茨木ローズライオンズクラブ 茨木ハーモニー ライオンズクラブ	8人
10. 29 10. 30	社協会議室	○災害時におけるボランティア支援に関する協定締結（新規） ○担当者の顔合わせと意見交換	茨木ロータリークラブ 茨木東ロータリークラブ 茨木西ロータリークラブ	3人
11. 11	おにクル 1 階	○災害ボランティアセンター設置シミュレーション研修 ・おにクル 1 フロア、使用予定の設備、備品 倉庫の確認 ・設置から運営の動線確認	茨木市社会福祉協議会職員	22人

1. 27	おにクル1階	○災害ボランティアセンター設置合同訓練 ・災害ボランティアセンター活動記録視聴 ・災害ボランティアセンター設置模擬訓練 ・各班役割の解説や流れ、動線の確認	茨木市高齢者サービス 事業所連絡会 茨木障害フォーラム 市民活動センターきゃばす 各ライオンズクラブ 各ロータリークラブ 茨木商工会議所 茨木青年会議所 ボランティア連絡会 社協職員	29人 ※ うち 社協 職員 10人
3. 4	社協会議室	○災害時におけるボランティア支援に関する意見交換会 ・各団体活動紹介 ・「1月実施災害ボランティアセンター設置合同訓練」の振り返り ・グループワーク、意見交換	茨木ライオンズクラブ 茨木オークライオンズクラブ 茨木ローズライオンズクラブ 茨木東ロータリークラブ 茨木商工会議所 茨木青年会議所	9人

③災害ボランティアセンター関係研修会（社協職員出席）

月 日	場所	内 容	出席者数
8. 2	大阪赤十字会館 3階 301号室	○令和6年度能登半島地震振り返り会（運営支援者意見交換会） ○情報提供：能登半島地震の経過と現状 （一般社団法人 FEEL Do 代表理事 栗原 英文 氏） ○情報共有：クール派遣外の被災地支援や社協活動について （各市町村社協） ○グループワーク・全体共有 （一般社団法人 FEEL Do 代表理事 栗原 英文 氏）	2人

④その他

月 日	場所	内 容	出席者数
7. 30	太田公民館 東保健福祉センター 庄栄エルダーセンター	○災害時難病患者（児）避難シミュレーション訓練 （茨木保健所主催） ○移送ボランティアが運転者として連携、協力	53人

【事業評価】

被災地で活動された個人・団体の経験や想いを伝えてもらう機会を設け、平時からの助け合いや災害ボランティア活動に関心を持ってもらうための講座を実施し、災害時支援の担い手発掘に力を入れました。

令和5年度に改めて各ライオンズクラブと災害時支援に関する協定を結び直し、そして令和6年度は、新たに各ロータリークラブとも協定を締結しましたので、災害ボランティアセンターの設置場所が「おにクル」に変更となったこともあり、初めて災害ボランティアセンター設置訓練を各協定機関や協力機関と合同で実施したことにより、大阪北部地震の時の映像や口頭だけでは伝わりにくかった当時の苦労した部分を体感・共有でき、より協力を得やすい体制づくりを進めることができました。

また、設置訓練にタイミングを併せて災害ボランティアセンターのマニュアル、BCP、リーフレット（市民向け）を改訂しましたので、今後これらを用いて、よりスムーズな運営と周知啓発に力を入れていきます。

16 福祉車両移送サービス事業について

外出困難な方が車いすに乗ったまま移動できるように、福祉車両を利用して、運転技術に長けるボランティアが支援する事業です。

①利用登録者数 32 人(前年度：40 人)

②ボランティア登録者数 15 人(前年度：20 人)

③利用実績

月		新規 登録	利用状況（車両台数 3 台）				走行距離 (km)
			30 分未満	30 分以上 4 時間未満	4 時間以上 8 時間未満	計	
4 月		1	0	4	1	5	198
5 月		1	0	9	0	9	140
6 月		1	1	6	0	7	141
7 月		0	0	4	1	5	51
8 月		0	1	3	0	4	58
9 月		0	1	5	0	6	88
10 月		0	0	3	0	3	58
11 月		1	1	5	0	6	100
12 月		2	0	6	0	6	100
1 月		0	0	5	0	5	97
2 月		2	0	6	0	6	86
3 月		0	0	6	0	6	119
計	6 年度	8	4	62	2	68	1,236
	5 年度	7	2	64	4	70	1,017

【事業評価】

利用登録者は年々減少していますが、依頼件数はほぼ横ばいの状態です。運転ボランティアの減少から依頼に対し対応できないことが増えてきました。移動に関する社会的問題は年齢や対象を問わず多数聞かれるようになってきました。本事業を必要としている方の希望に添えるよう運転ボランティアの確保と育成が急務です。

社協だよりや市広報誌で運転ボランティアの募集を行っていますが、なかなか応募がなく、慢性的に担い手不足が続いているため、新たな啓発の場や募集の工夫等を検討する必要があります。

17 福祉教育事業について

「福祉＝障がい者や高齢者、困った人を助けてあげること」ではなく、地域住民ひとり一人が「普段の暮らしの幸せ」を実現していく主人公として、我が事として気付き、考え、行動できる「きっかけづくり」を行っています。

また「出来ないこと（不自由さ）」を体験するのだけではなく「当事者の語りを大切に」する、或いは「当事者の生活を知る」というところに重点を置いたプログラムにもしています。

○小中学校への福祉体験学習

月 日	場 所	内 容	備 考 (対象学年・協働団体)
6. 6	関西大倉 中学校	①六ちゃんのお話 ②体験(車いす、アイマスク)	2年生対象 茨木障害フォーラム 六條氏
6. 20	忍頂寺小学校	①六ちゃんのお話 (みんなが住む地域はどんなところ?) ②六ちゃんへの質問 ③車いすドッジボール	3年生対象 茨木障害フォーラム 六條氏
10. 29	沢池小学校	①平瀬さんのお話 ②社協から車いす操作の説明 ③体験 (校内の車いすでの移動体験、スラローム対決) ④全体振り返り	3年生対象 ほくせつ24 平瀬氏
10. 31 11. 1 11. 5	彩都西小学校	①彩都西地区福祉委員会と一緒に里山公園を 車イスでの移動体験をしながら散策 ②六ちゃんのお話、クイズ、電動車いす体験	3年生対象 茨木障害フォーラム 六條氏
11. 7	穂積小学校	①六ちゃんのお話 ②校内の車いすでの移動体験	3年生対象 茨木障害フォーラム 六條氏
11. 14 11. 15	大池小学校	1日目『校内車いす体験』 2日目『視覚障がいとは??』 ①佐藤さんと伊敷さんの自己紹介 (ヘルプマークのお話) ②伊敷さんとタイピング対決 (※キーボードでの文字入力) ③佐藤さんの野菜切り実演 ④質問コーナー ⑤手引き体験	3年生対象 茨木視覚障害者福祉 協会 佐藤氏、伊敷氏
11. 27	春日丘小学校	①平瀬さんのお話 ②社協から車いすの使い方・手引きの説明 ③体験(車いす・アイマスク・平瀬さんと交流) ④全体振り返り	3年生対象 ほくせつ24 平瀬氏 春日丘・穂積CSW
12. 3	東小学校	①六ちゃんのお話 ②車いすの使い方を学ぶ ③体験(校内車いす移動、車いすドッジボール) ④全体振り返り	3年生対象 茨木障害フォーラム 六條氏

1. 20	郡山小学校	①長谷川さんのお話(TikTok の動画、クイズ) ②車いすの使い方説明 ③車いすに乗って猛獣狩りゲーム	3年生対象 ヘルパー 八木氏 ほくせつ24 長谷川氏、 藤岡氏
-------	-------	--	--

【事業評価】

福祉教育の考え方を大切に「地域を育む」ことを目的としていますが、実際は小中学校から「去年と同じ〇〇体験を」という依頼内容が大半を占めています。

そのため、できる限り先生方の考えや生徒達に学んで欲しいことを聞き取り、当事者の方々と交えて体験プログラムを考え実施するよう努めていますが、まだまだ「地域を育む」ところまでは至っていないのが現状です。

それでも、令和6年度は、茨木市地域自立支援協議会当事者部会の方々が作成したヘルプマークの啓発冊子を使い、当事者の方々の取り組みについても一緒に学校で啓発することができました。

今後は「障害理解教育」だけに終わらず、障がいがあっても地域で暮らす一人の住民であることを、我が事として考えてもらえる福祉教育事業を、地域住民や学校関係者、当事者の方々と一緒に考えていきます。

18 共同募金事業について

- (1) 常任理事会 令和6年7月22日(月)
- (2) 理事会 令和6年8月5日(月)
- (3) 自治会長説明会 資料送付による周知と協力依頼
- (4) 街頭募金活動 令和6年10月26日(土)開催

場所：JR茨木駅、阪急茨木市駅、阪急南茨木駅

(5) 赤い羽根共同募金実績額種別内訳 (円)

	令和6年度実績額	令和5年度実績額	対前年度増減額
戸別募金	5,575,604	5,729,137	△153,533
学校募金	440,956	79,270	361,686
職域募金	89,071	99,682	△10,611
街頭募金	435,329	516,844	△81,515
法人募金	814,684	795,768	18,916
その他	95,824	630,936	△535,112
バ ッ ジ	135,000	197,000	△62,000
計	7,586,468	8,048,637	△462,169

(6) 歳末たすけあい運動募金実績額種別内訳 (円)

	令和6年度実績額	令和5年度実績額	対前年度増減額
戸別募金	5,647,664	5,664,453	△16,789
職域募金	96,424	100,441	△4,017
法人募金	317,900	264,300	53,600
その他	60,573	66,866	△6,293
計	6,122,561	6,096,060	26,501

(7) くじ募金 (円)

日 時	場 所	募 金 額
10/12 (土) 10:00~12:00	コープ茨木白川	9,300
10/20 (日) 10:00~15:00	シニアプラザいばらき	41,200
11/6 (水) 13:30~16:00	ぷらっとホームウエنز	6,600
11/13 (水) 13:30~16:00	ぷらっとホームウエنز	9,200
11/14 (木) 13:30~16:00	丘の家 ~ゆ楽~	21,300
11/17 (日) 10:00~15:00	郡文化祭	19,400

11/20（水） 13：30～16：00	ぷらっとホームウエنز	8,100
11/21（木） 13：30～16：00	丘の家 ～愉楽～	17,100
11/26（火） 10：00～12：00	大池コミュニティセンター	21,600
11/27（水） 13：00～15：00	ぷらっとホームウエنز	4,800
12/17（火） 13：00～16：30	みしまらくらく亭	13,200
10/1（火）～12/27（金）	茨木市社会福祉協議会	18,000
合 計		189,800

【事業評価】

募金額の減少が続いており、要因のひとつとしては募金の目的や結果等の周知不足といったことが考えられます。

次年度以降はチラシやポスター、ホームページでの周知を強化し、募金目的や結果を分かりやすく明示するほか、説明機会を増やすとともに、気軽に募金できる手段の拡大としてチラシやポスターにQRコードを掲載し、また、それらを掲出してもらえる施設や事業者の拡大を図るなど、より多くの市民に関心を持ってもらえるような方法も検討していきます。

くじ募金については、各種イベント等での実施以外に、茨木市合同庁舎5階の本協議会事務局窓口でも実施しましたが、令和5年度と比較すると募金額は減少しました。これは、令和5年度は福祉文化会館1階で実施していたため、本協議会訪問者だけでなく福祉文化会館の来館者も気軽に募金ができたと推察されます。

今後は、くじ募金の方法等について整理するとともに、各種イベント等での実施を積極的に拡大していきます。

19 茨木市高齢者・障害福祉サービス各事業所連絡会との連携について

各事業所連絡会と連携を取り、台風や地震等のあらゆる災害時に、施設の提供や避難所と災害ボランティアセンターとの連携、各事業所の所在地域での安否確認や事業所間の連携による支援等について検討、実施を進めています。

(1) 茨木市高齢者サービス事業所連絡会との協働

各事業所から推挙された「防災担当者」を中心に連絡会全体の防災意識を高め、その後は5つの圏域ごとでの防災対応について検討しています。

① 検討会

月日	内 容	出席者数
5.29	1. 6月25日開催の全体研修会について（内容最終確認） 2. 各圏域の進捗状況（東・西） 3. 今後の進め方について（全体及び各圏域）	11人
7.31	1. 6月25日開催の全体研修会について（報告） 2. 各圏域の進捗状況（報告） ・北圏域、中央圏域の立ち上げ（検討） 3. 医療ケア児の避難シミュレーション訓練について	8人
9.25	1. 各圏域の進捗状況（報告） ・中央圏域の立ち上げ（第1回） ・北圏域10月立ち上げ準備 2. 今後の予定について（全体及び各圏域） ・研修 ・意見交換 ・防災公園見学 ※東圏域検討委員と民生委員意見交換会	7人 ※22人
11.27	1. 各圏域の進捗状況（報告） ・北圏域の立ち上げ（報告） 2. 西河原防災公園仮設現地資材設置訓練について（報告） 3. 3月4日開催の全体研修会について（内容検討）	7人
1.29	1. 3月4日開催の全体研修会について（内容最終確認） 2. 各圏域の進捗状況（報告） ・北圏域でのアンケート（想定被害状況、支援内容等）について	6人
3.26	1. 3月4日開催の全体研修会について（報告） 2. 各圏域の進捗状況（報告） 3. 7年度の進め方について	4人

② 全体研修会

月日	内 容	出席者数
6.25	○第1部： ・社会貢献事業の方向性（方針）説明 ・東圏域防災担当者会議での取り組み報告 （災害『地震想定』時における事業所対応シートの活用） ○第2部：圏域ごとで部会を越えたグループワーク ・自分たちの地域（圏域）では、こういった被害が考えられるか。 ・自事業所で出来る事、圏域内事業所間で出来る事、他圏域からの応援が必要な事 ・事前出来る支援（通所からショートステイへのプラン変更）	56人

10. 15	○西河原防災公園仮設現地資材設置訓練 ・ 防災公園の使用説明 ・ トイレ、かまどベンチ等の組み立て（演習）	27 人
3. 4	○ 1 部：基調講演（オンライン） 東日本大震災当時の被災状況、復旧・復興の体験談等 「災害が起こる以前の準備と震災後の変化、今後の備え」 釜石市の社会福祉法人（介護事業所）職員より ○ 2 部：参加者グループワーク 事業所連絡会会員、民生委員児童委員、市担当課職員	64 人

③ 各圏域での検討会（東・西・北・中央圏域）

開催回数	内 容	出席者数
計 11 回	東圏域防災担当者会議の開催 ・ 災害実地訓練の動画作成 ・ 東圏域民生委員との意見交換（災害時の対応等） ・ 西河原防災公園仮設現地資材設置訓練 ・ 台風や地震を想定したシミュレーション	延 119 人
計 9 回	西圏域防災担当者会議の開催 ・ 圏域内危険個所の確認 ・ 災害時の各部会ごと事業所対応について	延 53 人
計 2 回	北圏域防災担当者会議の開催 ・ 風水害時の想定被害確認 ・ 災害時の相互支援可能状況アンケート調査	延 29 人
計 6 回	中央圏域防災担当者会議の開催 ・ 風水害時の想定被害確認 ・ 今後の取組み内容検討	延 36 人

【事業評価】

社会貢献事業の方向性（方針）を再確認したうえで、モデル的に検討を進めている東圏域の検討内容を踏まえ、研修会を通じて全体での共通認識としました。

その中から、6 年度には北圏域及び中央圏域でも検討の機会を設けることができ、圏域ごとのより小さな範囲で災害時の問題や相互支援の内容等を検討することが出来ました。

(2) 障害福祉サービス事業所連絡会への参加

障害福祉サービス事業所連絡会との連携を深め、連絡会と共に地域での障がい理解を促すことで、障がいの有無に関わらず地域住民として互いに理解し合い、助け合えるような関係性を構築できるよう進めていきます。

月 日	内 容	出席者数
5. 27	・ 総会について ・ 今年度の研修について ・ 予算について	8 人
6. 24	・ 総会、研修会、交流会について ・ 9 月研修について ・ 藍野大学 3`s カフェ販売依頼について ・ 自立支援協議会全体会報告 ・ 法人内コンプライアンス委員会報告	7 人
7. 12	・ 茨木市障害福祉サービス事業所連絡会総会 ・ 災害対策研修「能登半島地震から学ぶ今後の災害にどう備えるか？」	49 人
7. 22	・ 総会について振り返り ・ 支給決定の研修について	8 人
8. 26	・ 支給決定の研修について	9 人
9. 16	・ 支給決定について（研修）	43 人
10. 28	・ 研修会について（11 月、1 月、3 月）	8 人
11. 8	・ 感染対策研修	16 人
11. 25	・ 11 月 8 日の研修振り返り ・ 研修会について（1 月、3 月） ・ 事業所連絡会の相談支援部会立ち上げについて ・ ともしび園について	8 人
12. 23	・ 相談支援部会について ・ 研修について（1 月、3 月） ・ 日中活動部会での活動について ・ 各事業所からの報告 ・ 個別避難計画について	9 人
1. 27	・ 1 月の研修振り返り ・ 各事業所からの報告 ・ 研修会について（3 月）	8 人
2. 17	・ 研修について（3 月） ・ 日中活動系部会の親睦会についての共有	7 人

(3) その他

- ・ 地域移行支援、地域定着支援部会への参加

計 4 回

【事業評価】

地域での活動や福祉教育などの情報を共有し、地域が障がいのことを知り障害福祉サービス事業所が地域のことを知るきっかけとなったので、今後の研修などで段階的に地域と関わられるように働きかけていきます。